

令和7年度 事務事業マネジメントシート		段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					380	自転車等放置対策事業				都市構想部	総合交通政策課
1 事業概要		中事業番号		2033	148							所属コード	331500
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X推進	手段	意図（目的）	
大綱（取組）	V「暮らしやすいまちの未来」	3.6 11.2		4-1	○						○自転車等駐車場の維持管理    ○郡山駅前 自転車等放置防止の啓発と誘導    ○放置自 転車等の撤去	○放置自転車等が原因となる交通障害や事故の防止    ○超 高齢社会に対応した移動円滑化の促進    ○街並みの景観向 上	
施策	2誰もが安心して快適に暮らせるまち												

事業開始時周辺環境（背景）		現状周辺環境		今後周辺環境（予測）		住民意向分析	
放置自転車は全国的な社会問題となっており、郡山駅前周辺においても歩道等に放置自転車等があふれ、通行の支障となり、また、駅前等の景観も悪くなっていた。		自転車等駐車場を整備するとともに、自転車等放置防止誘導員を配置し、自転車等の放置防止の啓発と自転車等駐車場の利用の呼び掛けにより、自転車利用者に駐車禁止等区域の周知とマナーの向上が図られ、放置自転車が減少してきている。		今後も交通障害や事故の防止はもとより、移動の円滑化を図るため、放置自転車対策が必要である。 また人口の減少に伴い有料自転車等駐車場の使用料と利用台数は、将来、減少で推移していくものと思われるが、放置自転車対策のために自転車等駐車場の必要性は高い。		有料自転車等駐車場については、電車の始発及び終電や高速バスの発着時間に合わせた営業時間の拡充要望があり、無人化導入の検討も含め費用対効果を検証する必要がある。	

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	中間指標 2022年度	最終指標 2025年度
対象指標	市民	人		324,586		322,515		319,680								
活動指標①	口頭による指導（誘導）件数	件	340	127	320	94	300	115	280		260		240	220		
活動指標②	チラシによる指導警告件数	件	1,400	191	1,300	247	1,250	263	1,200		1,150		1,100	1,050		
活動指標③	撤去台数（放置禁止・規制区域内）	台	210	60	200	84	190	94	180		170		160	150		
成果指標①	郡山駅周辺1日あたりの平均自転車等放置台数	台	22	17	21	14	20	3	19		18		17	16	23	20
成果指標②	有料自転車等駐車場使用料	千円	24,800	19,746	24,300	18,989	24,000	18,036	24,000		24,000		24,000	24,000	25,800	25,000
成果指標③	有料自転車等駐車場利用台数	台	900,000	630,391	900,000	596,175	900,000	566,123	900,000		900,000		900,000	900,000	900,000	900,000
単位コスト（総コストから算出）	有料駐車場利用台数1台あたりのコスト	千円		0.13		0.11		0.13	0.09		0.09		0.10	0.10		
単位コスト（所要一般財源から算出）	有料駐車場利用台数1台あたりのコスト	千円		0.10		0.08		0.10	0.06		0.07		0.07	0.07		
事業費		千円		76,904		55,555		66,361	111,275		70,555		70,555	70,555		
人件費		千円		6,208		9,399		8,509	9,399		9,399		9,399	9,399		
歳出計（総事業費）		千円		83,112		64,954		74,870	120,674		79,954		79,954	79,954		
国・県支出金		千円														
市債		千円							42,700							
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円		19,923		18,989		18,036	19,866		23,000		22,500	22,000		
その他		千円							4,841							
一般財源等		千円		63,189		45,965		56,834	53,267		56,954		57,454	57,954		
歳入計		千円		83,112		64,954		74,870	120,674		79,954		79,954	79,954		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続		継続						

活動指標分析結果		成果指標分析結果		総事業費（事業費・人件費）分析結果	
郡山駅周辺における自転車等放置対策については、平成14(2002)年度の誘導員の導入効果によりマナーの向上が図られてきている。 令和6(2024)年度における口頭指導とチラシ指導件数はそれぞれ前年度から増加し、撤去台数についても、前年度の84台に対して94台と増加したものの、いずれも目標値以内で推移している。		郡山駅周辺における自転車等放置台数は、誘導員導入前と比べ大きく減少しているものの、近年は横ばい状態が続いてきた。令和6(2024)年度の1日あたり平均自転車等放置台数は、放置規制区域内の慢性的な放置集中箇所が、近隣ビルの解体に伴い解消されたことにより、前年度の14台から3台と大きく減少した。しかし、放置台数減少の一方で、撤去台数は前年度の84台から94台に増加しており、これは、即時撤去となる放置禁止区域の放置状況は大きな変化が見られなかったものと考えられる。 有料自転車等駐車場の使用料と利用台数については、コロナ禍以後も年々減少傾向にあり、令和6(2024)年度実績もそれぞれ減少した。		【事業費】 令和6(2024)年度の事業費は、施設の備品（定期券更新機2台）更新があったことにより、前年度の55,555千円から、66,361千円に増加した。	
				【人件費】 本事業は令和5(2023)年度からセーフコミュニティ課から事務移管されたものであるが、業務のノウハウの蓄積とともに、効率的な実施体制により、人件費は前年度の9,399千円から、令和6(2024)年度は8,509千円に減少した。	

### 3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価			
1 規模・方法の妥当性		3	
2 公平性		4	
3 効率性		3	
4 活動指標（活動達成度）		4	
5 成果指標（目的達成度）		4	

(2) 事業継続性評価			
			ニーズ（小） → ニーズ（大）

継続	一次評価コメント
郡山駅前周辺での誘導員による指導（誘導）・警告等のこれまでの取組により自転車等利用者のマナー向上が図られてきており、令和6(2024)年度は1日当たりの平均自転車等放置台数も前年度から大きく減少したが、指導件数や撤去台数は前年度から増加しており、今後も引き続き公共の場所における自転車等の放置を防止することにより、通行機能及び歩行者の安全の確保とともに良好な生活環境の維持に向けて取り組んでいく。	

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）
		○			

気候変動対応	D X（デジタル市役所）	部局間協奏
○	○	

### 4 二次評価

(1) 事業手法評価			
1 規模・方法の妥当性		3	
2 公平性		4	
3 効率性		3	
4 活動指標（活動達成度）		4	
5 成果指標（目的達成度）		4	

(2) 事業継続性評価			
			ニーズ（小） → ニーズ（大）

継続	二次評価コメント
本事業の令和6年度の活動においては、口頭指導115件、チラシ警告263件、撤去台数94台といった実績を記録し、放置自転車台数は1日平均3台と前年の14台から大幅に減少した。これらの成果は、郡山駅西口における自転車等放置規制区域内の環境の変化に加え、誘導員の配置など従来の取り組みの効果によるものである。 一方、有料駐車場の使用料や利用台数は減少傾向にあり、施設の無人化導入など費用対効果を高める取り組みの検討が必要とされている。これらの課題に対応しつつも、交通障害防止や移動円滑化、景観向上を目的とした本事業の必要性は依然として高いことから、今後においても継続して事業を実施する。	

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画	